

ブナ科 マテバシイ属

マテバシイ (馬刀葉椎)

Lithocarpus edulis (Makino) Nakai

自生環境

植栽 (公園 など)

原産地

日本在来

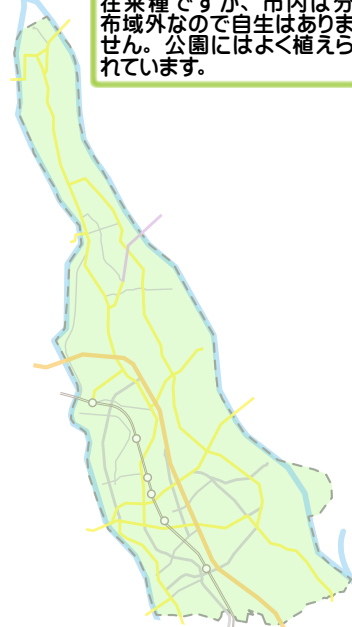
生育を脅かす要因

(今のところ特になし)

在来種であるものの、市内は分布域外です。ただ公園によく植えられるため、見かける頻度は高めです。大量のどんぐりを落としますが、今のところ野生化はしていないようです。

市内の分布状況

在来種ですが、市内は分布域外なので自生はありません。公園にはよく植えられています。



特徴

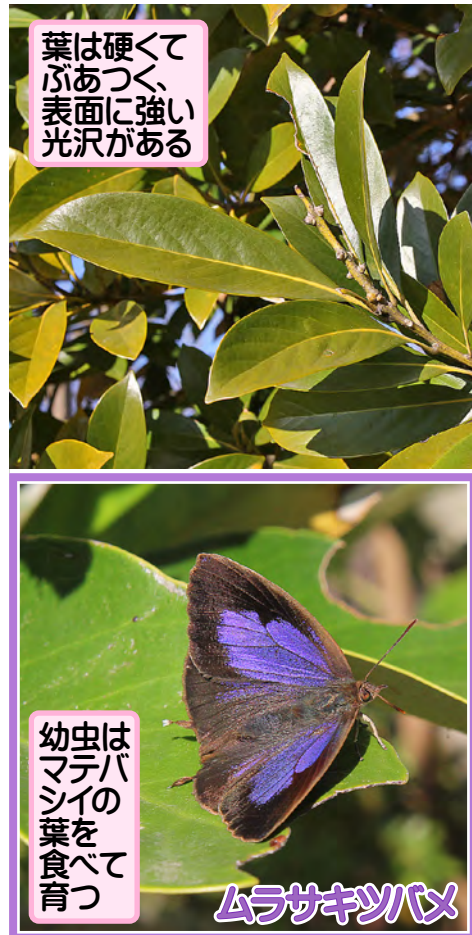
☆ 本来の分布は、九州から沖縄にかけての海沿いの山林です。そのため日本在来でありながら市内は分布範囲外で、野生のものはありません。一方で成長が早くて剪定に強く、大気汚染や直射日光、潮風にもよく耐えるため、公園樹や街路樹などとしてとてもよく植えられています。そのためもっともなじみの深いどんぐりのひとつになっています。

☆ 雌雄同株ですが、雄花の穂と雌花の穂が別々につきます。どちらも花期は6月で、雄花の開花時は栗の花に似た匂いがあたりに漂い、たくさんの虫さんが蜜や花粉を求めてやってきます。

☆ どんぐりは「2年型」で、雌花の穂は開花したその年はどんぐりにはなりません。小さなまま冬を越し、翌年の夏以降急速に膨らんでどんぐりのかたちになります。どんぐりはあくが少なく、中身は茹でて食べることができます。

ムラサキツバメとの関係

ムラサキツバメ (シジミチョウ科のチョウ) は近畿地方以西に生息し、幼虫はマテバシイの葉を食べて育ちます。このムラサキツバメが近年じわじわと分布を広げてきており、2010 年以降は野田市内でもたびたび見るようになりました。現在は東南北部にまで広がっているようです。おそらく公園樹として、マテバシイがたくさん植えられるようになったことが関連しているものと思われます。



わびちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

